

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

> 分類できない 分類できない

分類できない

改訂日 2024-05-29

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Coletsos agar

カタログ番号 53154

安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad 140-0002

東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive 3 boulevard Raymond Poincaré Hercules, CA 94547 92430 Marnes-Ía-Coquette 天王洲セントラルタワー20F

USA France バイオ・ラッド ラボラトリーズ e-mail: fds-msds.fr@bio-rad.com

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

専門的なユーザーに限定される 推奨用途

生体外(In vitro)診断

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	1 4-1.
世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物で	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
記さり方字が	八粒ズキたい

ラベル要素

危険有害性情報

オゾン層への有害性

水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない

注意書き 安全対策 ·該当しない

応急措置

・該当しない

保管

ページ 1/7

: 該当しない

廃棄 :該当しない

他の危険有害性

該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS No.	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
			ントリ		ントリ	
塩化ニッケル(II)六水和物	7791-20-0	< 0.001	既存	(1)-242	既存	(1)-242

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な情報なし。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

ページ 2/7

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
塩化ニッケル(II)六水和物 7791-20-0	TWA: 0.01 mg/m ³	0.1 mg/m ³	TWA: 0.1 mg/m³ Ni inhalable particulate matter

生物学的職業性ばく 露限界値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値 が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
	口作注水用工了五	
塩化ニッケル(II)六水和物	_	30 µg/L - urine (Nickel) - post-shift at
7791-20-0		end of workweek

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

眼及び/又は顔面の保護具 特別な保護具は必要とされない。 皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

ページ 3/7

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 固体 物理状態 固体 色 情報なし 臭い 変化する 臭いのしきい値 情報なし

特性 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 <u>値</u> データなし データなし <u>備考 · 方法</u> 情報なし 情報なし 可燃性 -タなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 データなし 爆発又は可燃の上限界 情報なし データなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし 引火点 蒸発速度 自然発火点 情報なし情報なし 該当しない

データなし 392.78 ° C / 739 ° F

データなし データなし 分解温度 情報なし 情報なし

粘度 動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水に可溶 水への溶解度 データなし データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 情報なし 密度及び/又は相対密度

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 粒子特性 データなし 情報なし

該当しない 粒径 データなし 粒径分布 データなし 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性_

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
塩化ニッケル(II)六水和物	= 105 mg/kg (Rat)	_	_

ページ 4/7

Coletsos agar **改訂日** 2024-05-29

症状情報なし。

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC
塩化ニッケル(II)六水和物	1A	Group 1
7791-20-0		, i

生殖毒性 分類できない。

標的職器影響 腎臓、呼吸器、眼、皮膚

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 25.94562 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

JGHS / JP ページ 5 / 7

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 規制対象外 日本

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない **労働安全衛生法**

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。 詳細な仕様につ SDSの項目8を参照。 いては、

腐食性液体

労働安全衛生規則 第326条 に示される、ホースをとおして、動力を用いて圧送する作業を行わせる事業者が特別な措置を講ず る必要のある腐食性液体

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

化学名又は一般名	CAS No.	化審法
塩化ニッケル(II)六水和物	7791-20-0	優先評価化学物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質 人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の 3で定める指定物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法第4条、 水質管理目標設定項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質 大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物 大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

ページ 6/7

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2024-05-29

改訂記録 ータシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ この安全デ・

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例 凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA(時間加重平均) TWA 天井値 最大限界值 経皮吸収 Sk* 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

Environmental Protection Agency

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

木国塚児保護庁高生産軍化学物員フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

U.S. National Toxicology Program (NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

世界保健機構

免責事項

<u>水見事場</u> このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり

ページ 7/7